

Java研修

～ 辛かったけどしっかり学べた1年間 ～

2017/09/08
RITS 奥野由貴

目次

- 自己紹介
- 研修をふりかえる
 - 受講目的
 - 苦労したこと
 - 受講してよかったこと
- 成果物披露
 - 作ったものとその理由
 - デモ
 - 作り終えて
- 研修をふりかえる:まとめ

自己紹介

会社:リコーITソリューションズ株式会社

所属:BS事 IDC1-3

名前:奥野由貴

入社:2015年 (現在3年目)

研修を振り返る：
受講目的

受講目的①

得意な言語が欲しかった

- 当時、得意な言語がなかった
 - 入社前はプログラミング経験ほぼなし
 - 入社後の研修で Java を習ったが、得意と言えるレベルではなかった
- 単に業務をこなすだけでは、得意な言語が作れそうになかった
 - 現在のプロジェクトは実装より検証・仕様検討系が主な作業
 - 実装があっても様々な言語を少しずつ使うだけ (Node.js, Ruby, Swift, Java)

受講目的②

勉強を強いられる環境が必要だと思ったから

- 一人で勉強していてもだらけてしまう
- 「Java研修=宿題が多い研修」という噂を聞いて受講を決意

研修を振り返る：
苦勞したこと

苦労したこと①

宿題の量が(予想以上に)多かった

- 計画的に宿題を進めないと、月末が辛い
 - 特に最初の回の宿題は、範囲を間違っているのかと疑うほど多かった
- GUIの宿題を無駄に凝ってしまい、テキストの宿題がおろそかに
 - 凝り性には苦しい……

苦労したこと②

開発とテストの両方を作るのがほぼ初めてで難しかった

1. 実装→テストの順で進める

- テストに入ると実装に足りないところばかり気づく
- スレッドプールのテストはもぐらたたき状態

2. テスト→実装の順で進める

- 実装に入ってから問題の意味をはき違えていた OR 理解が足りないところに気づく

3. 実装妄想→テスト妄想→テキスト読み直し→テスト→実装

- ちょうどよい！（ここにたどり着くまで半年以上）

苦労したこと③

設計が難しかった

- GUI, Interpretの課題は設計が命だった
 - 最初何も考えずに実装を始めると、のちのち機能＋メソッドが足しにくい
 - クラス図をかいてみると、機能追加がちょっと楽になった。しかし何か変...
 - 結局、設計の時点で使用するAPIを理解していないと、無駄なコード・足りないコードが出てくると気が付いた

研修を振り返る：
良かったこと

良かったこと①

Javaに詳しくなった

- 主要なAPIを理解した！
 - 新人時代：呪文だらけ。とりあえず動けばいいかな・・・？
 - 現在：呪文ではない！主要なものであれば、説明できるほどに
- Oracle Java Silver, Goldを取得
 - ほとんどJava研修の宿題だけでSilverは合格
 - Goldも問題集1冊を念入りに読んだだけで合格

良かったこと②

プログラム言語とハードウェアの関係を理解することができた

- 変数・配列を作ると何が行われるかなど、
普段意識しない深い部分を理解することができた

良かったこと③

Java以外のプログラミング言語にも応用が効くようになった

- Lambda式やStreamのおかげで
Javascriptのアロー関数, reduceなどが簡単に理解できた
- Javaの標準APIを理解したことで、
他の言語で存在しそうなAPIを推測できるようになってきた

成果物披露：
作ったものとその理由

作ったものとその理由

Pomodoro Timerを作りました！

Pomodoro Timer

Pomodoro Timerとは

- Pomodoro Techniqueを実践するための時計

Pomodoro Techniqueとは

- 集中(25分間)、休憩(5分間)を繰り返すこと
- 短いタイムボックスによって、集中して働く・勉強するための時間管理法
- アジャイルなどの開発手法に影響を与えたといわれている。



作ったものとその理由

Pomodoro Timerを作りました！

- 理由
 - 実際に自分で使いそうなものを作りたいかった
 - 定期的に休憩を取る習慣をつけたい！
 - ペアプロのときに使えそう！
- アプリ名
 - pomopomo (ペアプロを意識して2回繰り返し)

成果物披露：

デモ！

デモで見て欲しいこと

機能

- 一般的なPomodoro機能
- タイマーの追加・削除
- 経過時間の記録

こだわったところ

- JavaFXで作成
- Button、Menuなどを使わない、フラットな見た目
- 画面を小さくしても最低限の部品を表示
- 休憩せざるをえない、煩わしい通知
 - Beep音
 - ダイアログを一番上に表示

成果物披露：
作り終えて

やり残したことはいっぱい

- 新しいタイマーに移った時に、画面の真ん中に表示する
- 以下をユーザが設定できる
 - 通知方法の種類・通知音量など
 - 分表示 / 秒表示
- タイマー色の追加
- 設定値の保存
- 数値がマイナスになった場合の処理の改善

しかし、仕上がりには満足

- .exe, .appにして実際に業務で使ったり
- GitHubリポジトリのREADMEから直接Downloadできるようにしたり
 - <https://github.com/okunoyuki/java-training>

研修を振り返る： まとめ

受講目的 → 達成！

勉強を強いられる環境が必要だと思ったから



- Java研修は予想通り、宿題が多く大変だった
- しかしきつと独学では得られない量の知識を
たった1年間で得ることができた

得意な言語が欲しかった



- Javaという言語を一通り知ること、「得意な言語」が得られた
- そして、Javaに限らずプログラミングに対して自信がついた

今後

機会があればJavaを使っていきたい

- 業務に直接は関係なくても、便利なツールを作ってみたい

Javaで得た知識をいかして、全く違う言語・技術を学び始めます

- ずっと勉強したかった(けど時間が作れなかった)

機械学習 & pythonを始めます

柴田さん、この9ヶ月間

ありがとうございました！



ご清聴ありがとうございました